

路盤材材料試験結果報告書

依頼者：株式会社 早出川建設

材料名：クラッシャーラン(C-40)山砕

材料産地：東蒲原郡阿賀町 谷沢 地内

令和 8 年 3 月

本間道路株式会社 試験センター

〒959-1604 新潟県五泉市論瀬8803番地1

TEL:0250-42-5560

FAX:0250-47-7071

試験概要

依頼者：株式会社 早出川建設

材料名：クラッシャーラン(C-40)山砕

材料産地：東蒲原郡阿賀町 谷沢 地内

試験期間：自 令和 8 年 1 月 20 日
至 令和 8 年 3 月 27 日

試験内容：試験内容は以下のとおりである。

- | | | |
|---------------------------|-------|------------|
| 1) 骨材のふるい分け試験 | …………… | JIS A 1102 |
| 2) 粗骨材の密度および吸水率試験 | …………… | JIS A 1110 |
| 3) ロサンゼルス機による粗骨材のすり減り減量試験 | …………… | JIS A 1121 |
| 4) 土の液性限界・塑性限界試験 | …………… | JIS A 1205 |
| 5) 突固めによる土の締固め試験 | …………… | JIS A 1210 |
| 6) 修正CBR試験 | …………… | 舗装調査・試験法便覧 |

試験会社：本間道路株式会社 試験センター

路盤材材料試験結果一覧表

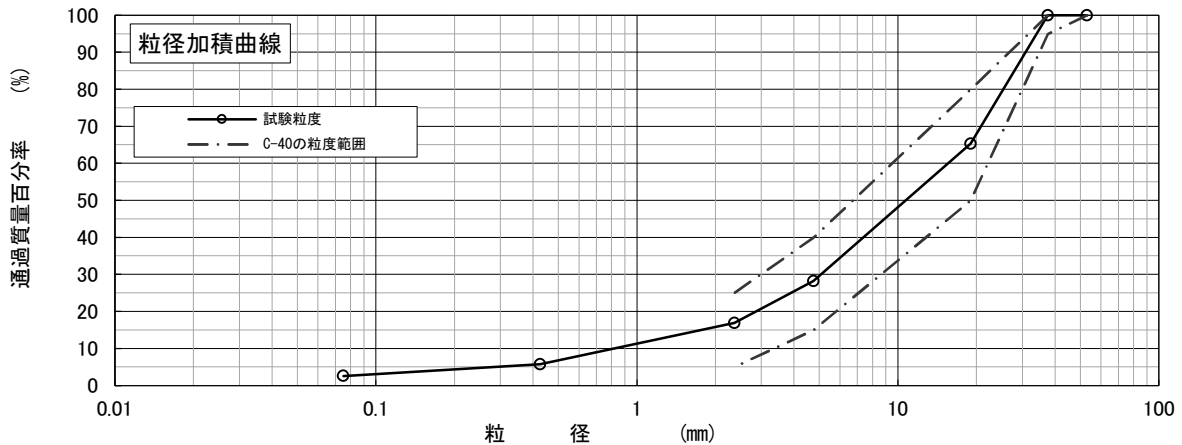
材 料 名 : クラッシャーラン(C-40)山砕

試 験 年 月 日 : 2026年3月27日

用 途 : 下層路盤

整 理 担 当 者 : 樋山 義弘

試 験 項 目		試 験 規 格	試 験 値	規 格 値	
一 般	含水比(搬入時) (%)	JIS A 1203	—		
	密度・吸水率	表 乾 密 度 (g/cm ³)	JIS A 1109 JIS A 1110	2.67	
		か さ 密 度 (g/cm ³)		2.65	
		見 掛 密 度 (g/cm ³)		2.70	
		吸 水 率		0.62	
	コンシステンシー	液 性 限 界 (%)	JIS A 1205	N.P	
		塑 性 限 界 (%)		N.P	
		塑 性 指 数		N.P	6以下
	すり減り減量 (%)	JIS A 1121	16.3		
	損 失 量 (%)	JIS A 1122	—		
異 物 混 入 率 (%)	※1	—			
粒 度 特 性	通過質量百分率 (%)	53 (mm)	100.0	100	
		37.5	100.0	95 ~ 100	
		31.5			
		26.5			
		19	65.3	50 ~ 80	
		13.2			
		4.75	28.2	15 ~ 40	
		2.36	16.9	5 ~ 25	
		0.425	5.7		
		0.075	2.6		
締 固 め 特 性	試 験 方 法	JIS A 1210	E-b法		
	最 大 乾 燥 密 度 (g/cm ³)		2.155		
	最 適 含 水 比 (%)		5.8		
	修 正 CBR (%)		91.9	20以上	



備考) ※1 コンクリート系・アスファルト系再生材利用の手引き(案)

JIS A 1110	粗骨材の密度および吸水率試験
------------	-----------------------

試験番号	クラッシャーラン (C-40) 山砕	試験年月日	2026年3月5日
試験産地	東蒲原郡阿賀町 谷沢 地内	試験者	樋山 義弘

試験時の水温 20 °C 骨材の最大寸法 13.2 mm

試験水温時の水の密度 $\rho_w = 0.9982$ g/cm³

測定番号	1	2	3	4
① 表乾試料+容器質量 (g)	4132.4	4233.0		
② 容器質量 (g)	576.0	580.4		
③ 表乾試料質量 (g)	①-②	3556.4	3652.6	
④ (かご+試料)水中質量 (g)	2224.4	2286.6		
⑤ かごの水中質量 (g)	0.0	0.0		
⑥ 試料の水中質量 (g)	④-⑤	2224.4	2286.6	
⑦ 表乾密度 (g/cm ³)	③・ ρ_w / (③-⑥)	2.67	2.67	
平均値	2.67			
⑧ 乾燥後の試料質量 (g)	3534.5	3630.1		
⑨ かさ密度 (g/cm ³)	⑧・ ρ_w / (③-⑥)	2.65	2.65	
平均値	2.65			
⑩ 見掛密度 (g/cm ³)	⑧・ ρ_w / (⑧-⑥)	2.69	2.70	
平均値	2.70			
⑪ 吸水率 (%)	(③-⑧) / ⑧ × 100	0.62	0.62	
平均値	0.62			

備考

調査件名 路盤材 材料試験

試験年月日 2026年 3月 13日

試験者 樋山 義弘

試料番号(深さ) クラッシャーラン (C-40) 山砕

25

液性限界試験

落下回数

含水比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	ω %		

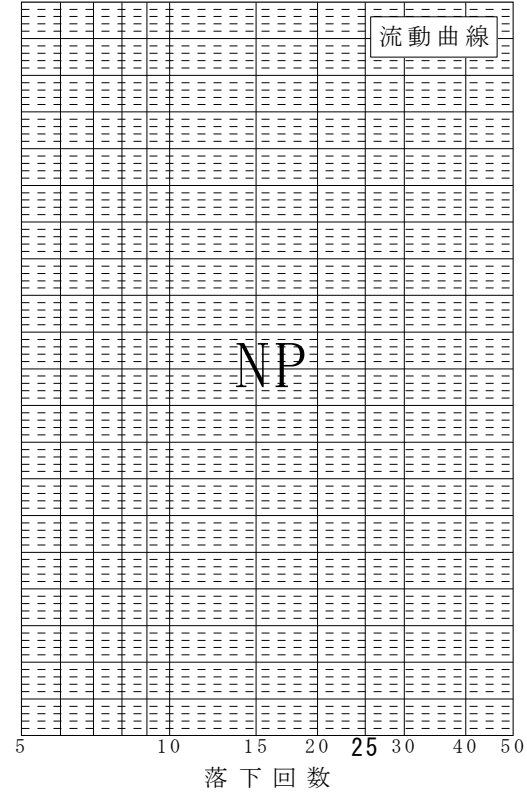
落下回数

含水比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	ω %		

塑性限界試験

含水比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	ω %		

液性限界 ω_L %	塑性限界 ω_P %	塑性指数 I_P
NP	NP	NP



試料番号(深さ)

液性限界試験

落下回数

含水比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	ω %		

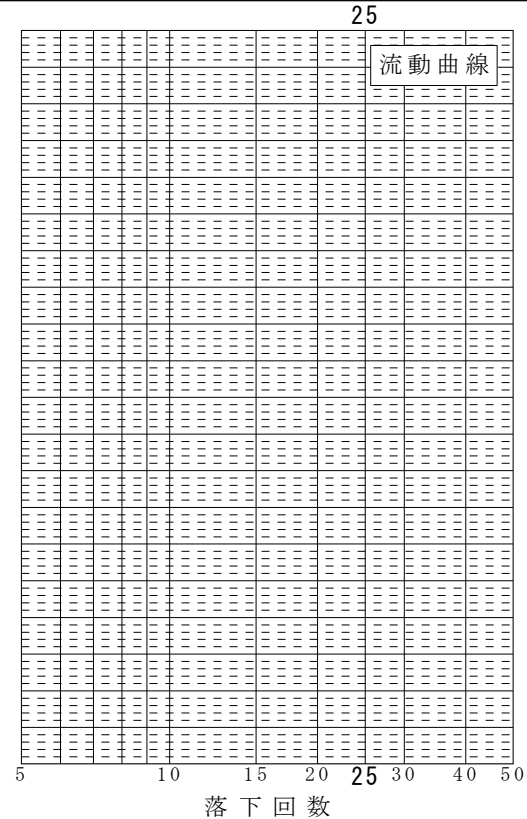
落下回数

含水比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	ω %		

塑性限界試験

含水比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	ω %		

液性限界 ω_L %	塑性限界 ω_P %	塑性指数 I_P



特記事項

砂分多く、試験不可。

JIS A 1121	ロサンゼルス試験機による粗骨材のすり減り試験
------------	------------------------

調査名 : 路盤材材料試験	試験年月日 : 2026年3月18日
試料番号 : クラッシャー (C-40) 山砕	試験場所 : 本間道路(株) 試験センター
試料採取場所 : 東蒲原郡阿賀町 谷沢 地内	試験者 : 樋山 義弘
骨材の種類 : 砕石	鋼球の数 : 8 個
粒度区分 : 13.2mm~4.75mm	鋼球の質量 : 3314 g
試料質量 : 5000.0 g	回転数 : 500 回

ふるい目の開き (mm)	試験前の粒度			試験後の粒度						
	累加残留質量 (g)	累加残留質量百分率 (%)	通過質量百分率 (%)	1			2			
				累加残留質量 (g)	累加残留率 (%)	通過率 (%)	累加残留質量 (g)	累加残留率 (%)	通過率 (%)	
63										
53										
37.5										
31.5										
26.5										
19										
13.2	0.0	0.0	100.0							
9.5										
4.75	5000.0	100.0	0.0							
2.36										
1.7										

すり減り試験結果

測定番号	1	2
① 試験前の試料質量 (g)	5000.0	5000.0
② 試験後の試料質量 (g)		
③ 1.7mmふるい残留物の水洗い後の質量 (g)	4195.8	4180.1
④ すり減り損失質量 (g)	①-③	819.9
⑤ すり減り減量 (%)	④/①	16.4
⑥ 平均値	16.3	

JIS A 1102	骨材のふるい分け試験
------------	-------------------

調査名・目的 路盤材材料試験	試験年月日 2026年3月10日
試料番号 クラッシャーラン (C-40) 山砕	使用場所 本間道路㈱試験センター
試料採取場所 東蒲原郡阿賀町 谷沢 地内	試験者 樋山 義弘

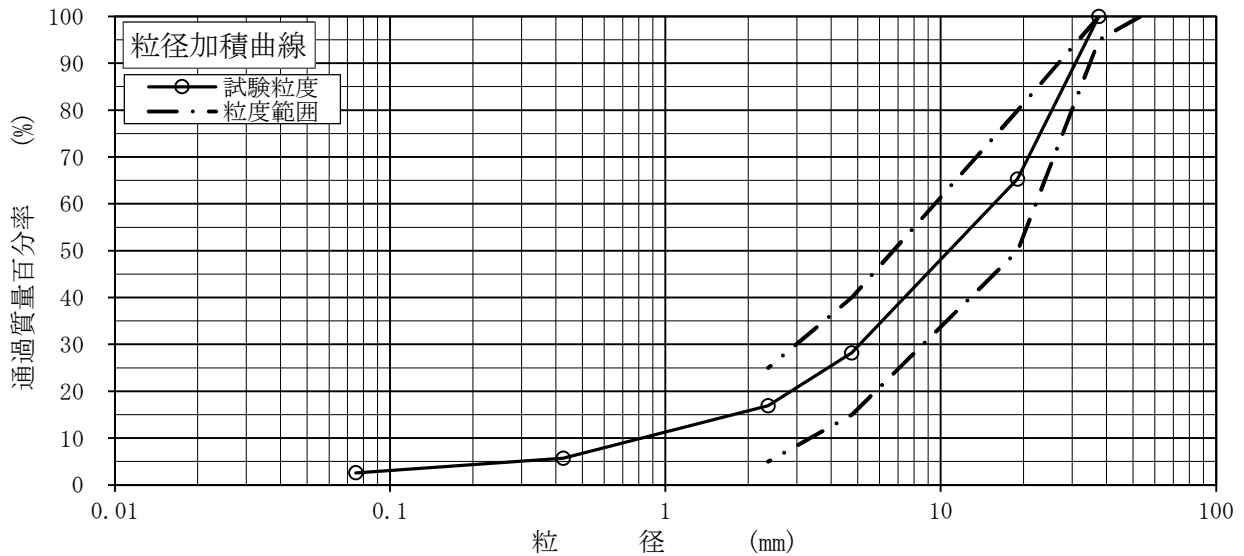
(全試料+容器)質量	15921.1 g	(2.36mm通過試料+容器)質量	13233.3 g
容器質量	0.0 g	容器質量	0.0 g
全試料質量	15921.1 g	2.36mm通過試料質量	2687.8 g
2.36mm残留試料質量	13233.3 g	全試料に対する2.36mm通過試料の割合	16.882 %

2.36mmふるい残留試料のふるい分け

ふるい (mm)	加積残留試料+容器質量 (g)	容器質量 (g)	加積残留質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)
75					
* 53					
* 37.5			0.0	0.0	100.0
31.5					
26.5					
* 19			5526.9	34.7	65.3
13.2					
9.5					
* 4.75			11437.2	71.8	28.2
* 2.36			13233.3	83.1	16.9

2.36mmふるい通過試料のふるい分け

ふるい (mm)	加積残留試料+容器質量 (g)	容器質量 (g)	加積残留質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)	全試料に対する通過質量百分率 (%)
1.18						
0.6						
0.425			1783.3	66.3	33.7	5.7
0.3						
0.15						
0.075			2276.6	84.7	15.3	2.6



JIS A 1210 JGS 0711	突固めによる土の締固め試験（測定）
------------------------	-------------------

調査件名 路盤材 材料試験

試験年月日 2026年 3月 4日

試料番号(深 さ) クラッシャーラン (C-40) 山砕

試験者 樋山 義弘

試験方法		E-b	土質名称				
試料の準備方法		乾燥法	ランマー質量 kg	4.5	モ ー ル ド	内径 cm	15
試料の使用方法		非繰返し法	落下高さ cm	45		高さ ¹⁾ cm	12.5
含水比	試料分取後 ω ₀ %		突固め回数 回/層	92		容量 V cm ³	2209
	乾燥処理後 ω ₁ %		突固め層数 層	3	質量 m _l ²⁾ g	3890	
測定 No.		1	2	3	4		
(試料+モールド)質量 m ₂ ²⁾ g		8442	8574	8744	8855		
湿潤密度 ρ _t g/cm ³		2.061	2.120	2.197	2.248		
平均含水比 ω %		2.2	3.2	4.2	5.0		
乾燥密度 ρ _d g/cm ³		2.017	2.054	2.108	2.141		
含水比	容器 No.	228	226	255	245		
	m _a g	5120.3	5245.4	5689.5	5823.3		
	m _b g	5020.8	5102.3	5494.5	5587.7		
	m _c g	573.3	569.3	854.3	871.1		
	ω %	2.2	3.2	4.2	5.0		
含水比	容器 No.						
	m _a g						
	m _b g						
	m _c g						
	ω %						
測定 No.		5	6	7	8		
(試料+モールド)質量 m ₂ ²⁾ g		8927	8916				
湿潤密度 ρ _t g/cm ³		2.280	2.275				
平均含水比 ω %		5.8	6.9				
乾燥密度 ρ _d g/cm ³		2.155	2.128				
含水比	容器 No.	262	257				
	m _a g	5896.7	5846.7				
	m _b g	5622.0	5525.6				
	m _c g	872.0	859.9				
	ω %	5.8	6.9				
含水比	容器 No.						
	m _a g						
	m _b g						
	m _c g						
	ω %						

特記事項

- 1) 内径15 cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は底板を含む。

$$\rho_d = \frac{\rho_t}{1 + \omega / 100}$$

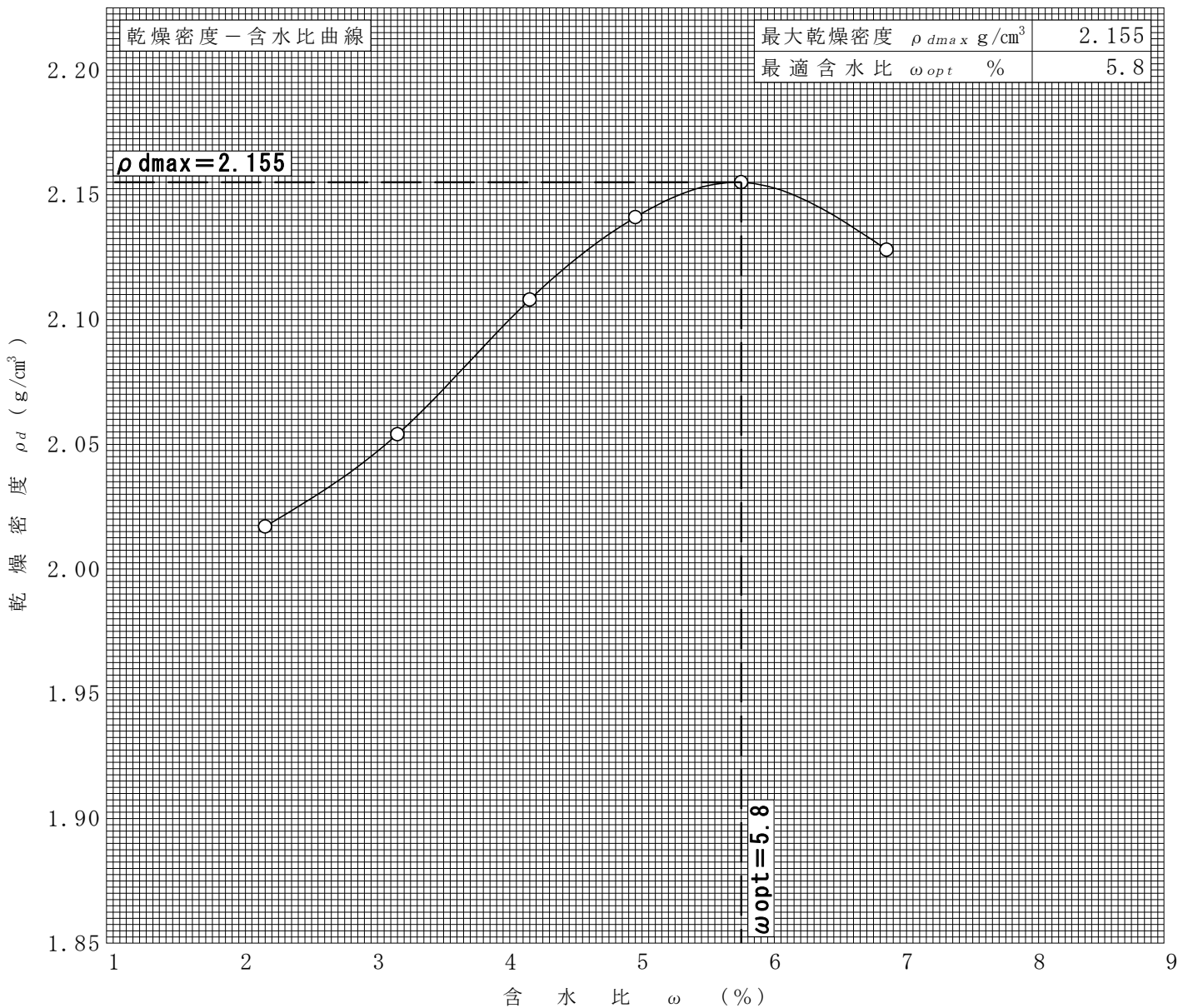
調査件名 路盤材 材料試験

試験年月日 2026年 3月 4日

試料番号(深 さ) クラッシャーラン (C-40) 山砕

試験者 樋山 義弘

試験方法	E-b		土質名称					
試料の準備方法	乾燥法		ランマー質量 kg	4.5	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³			
試料の使用方法	非繰返し法		落下高さ cm	45	試料調整前の最大粒径 mm		37.5	
含水比	試料分取後 ω_0 %			突固め回数 回/層	92	モールド	内径 cm	15
	乾燥処理後 ω_1 %			突固め層数 層	3		高さ ¹⁾ cm	12.5
測定 No.	1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比 ω %	2.2	3.2	4.2	5.0	5.8	6.9		
乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.017	2.054	2.108	2.141	2.155	2.128		



特記事項

1) 内径15 cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。

ゼロ空気間隙曲線の計算式

$$\rho_{dsat} = \frac{\rho \omega}{\rho_w / \rho_s + \omega / 100}$$

JIS A 1211 JGS 0721	C B R 試験 (初期状態, 吸水膨張試験)
------------------------	-------------------------

調査件名 路盤材 材料試験 試験年月日 2026年 3月 6日

試料番号(深 さ) クラッシャーラン (C-40) 山砕 試験者 樋山 義弘

試験方法	締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称			
突固め方法	修	落下高さ cm	45	自然含水比 ω_n %			
試料準備	準備方法	非乾燥法	突固め回数 回/層	92	最適含水比 ω_{opt} %	5.8	
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	2.155	
	試料調整後含水比 ω_0 %		モールド	内径 cm	15	荷重板質量 kg	5.0
				高さ ¹⁾ cm	12.5	モールド容量 V cm ³	2209

供試体 No.		1		2		3		
含水比	容器 No.							
	m_a g							
	m_b g							
	m_c g							
	ω_1 %							
平均値 ω_1 %		5.8		5.8		5.8		
密度	(試料+モールド)質量 $m_2^{2)}$ g	11906		11886		11834		
	モールド質量 $m_l^{2)}$ g	6879		6827		6821		
	湿潤密度 ρ_t g/cm ³	2.276		2.290		2.269		
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.151		2.164		2.145		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時間	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0							
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96							
(試料+モールド)質量 $m_3^{2)}$ g		11953		11934		11882		
膨張比 γ_e %								
湿潤密度 ρ'_t g/cm ³								
乾燥密度 ρ'_d g/cm ³								
平均含水比 ω' %								

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量 (mm)}}{\text{供試体の最初の高さ (125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_l}{V (1 + \gamma_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + \gamma_e / 100}$$

$$\omega' = \left(\frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名 路盤材 材料試験

試験年月日 2026年 3月 10日

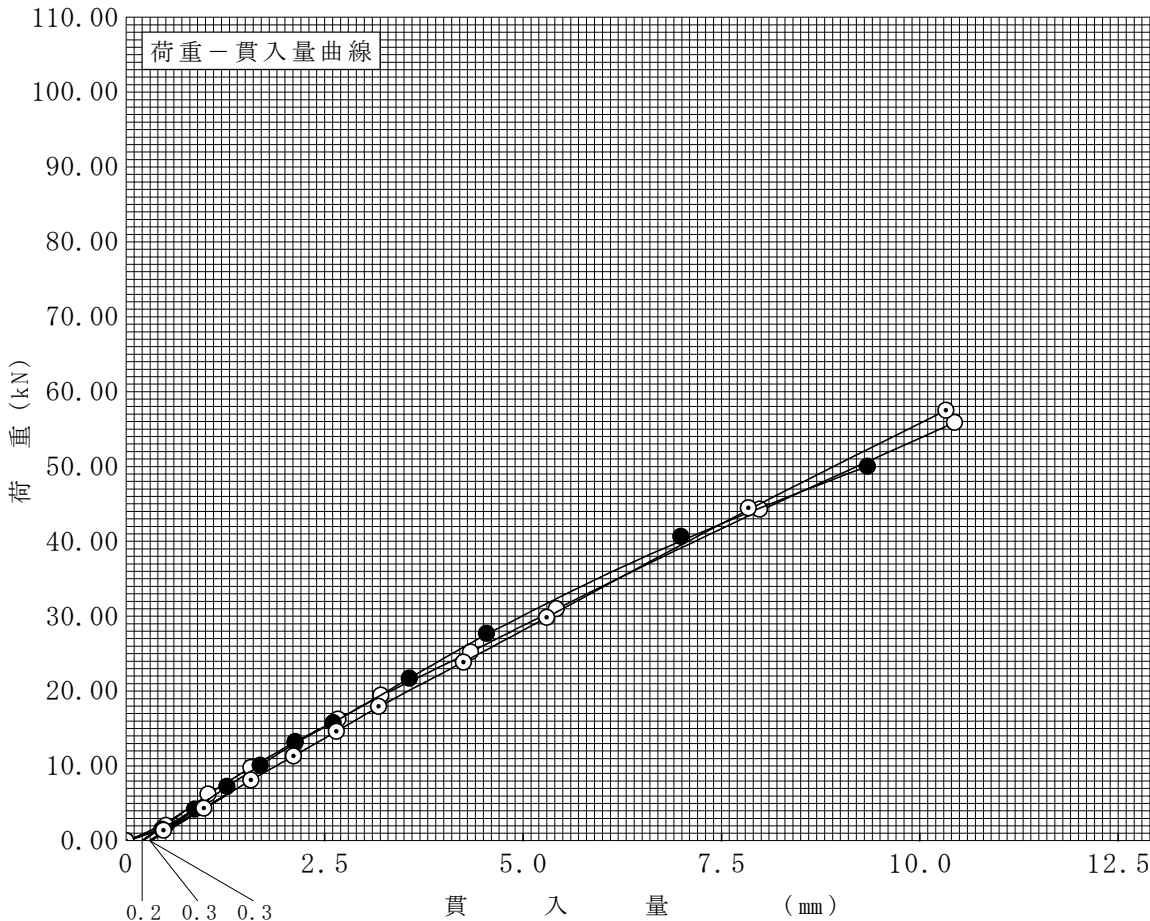
試料番号(深 さ) クラッシャーラン (C-40) 山砕

試験者 樋山 義弘

試験方法	締固めた土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法	修	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比	%
試料の準備方法	非乾燥法	突固め回数	回/層	92	自然含水比 ω_n	%
試験条件	水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 ω_{opt}	%
養生条件	日空气中	モールド	内径	cm	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	g/cm ³
	4日水浸		高さ ¹⁾	cm		

供試体 No.			1	2	3
吸水膨張試験	前	含水比 ω_1	5.8	5.8	5.8
		乾燥密度 ρ_d	2.151	2.164	2.145
	後	膨張比 γ_e			
		平均含水比 ω'			
		乾燥密度 ρ'_d			
貫入試験	試験後の含水比 ω_2				
	貫入量2.5mmにおけるCBR %		122.6	126.5	116.1
	貫入量5.0mmにおけるCBR %		149.8	159.3	150.0
	C B R %		149.8	159.3	150.0

平均 C B R %
153.0



特記事項
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重		
供試体 No. 1	16.430	29.813
供試体 No. 2	16.957	31.707
供試体 No. 3	15.558	29.845
標準荷重 kN	13.4	19.9

JIS A 1211 JGS 0721	C B R 試験 (初期状態, 吸水膨張試験)
------------------------	-------------------------

調査件名 路盤材 材料試験 試験年月日 2026年 3月 6日

試料番号(深 さ) クラッシャーラン (C-40) 山砕 試験者 樋山 義弘

試験方法	締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称			
突固め方法	修	落下高さ cm	45	自然含水比 ω_n %			
試料準備	準備方法	非乾燥法	突固め回数 回/層	42	最適含水比 ω_{opt} %	5.8	
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	2.155	
	試料調整後含水比 ω_0 %		モールド	内径 cm	15	荷重板質量 kg	5.0
				高さ ¹⁾ cm	12.5	モールド容量 V cm ³	2209

供試体 No.		4		5		6		
含水比	容器 No.							
	m_a g							
	m_b g							
	m_c g							
	ω_1 %							
平均値 ω_1 %		5.8		5.8		5.8		
密度	(試料+モールド)質量 $m_2^{2)}$ g	11667		11620		11667		
	モールド質量 $m_l^{2)}$ g	6845		6826		6845		
	湿潤密度 ρ_t g/cm ³	2.183		2.170		2.183		
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.063		2.051		2.063		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時間	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0							
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96							
(試料+モールド)質量 $m_3^{2)}$ g		11721		11683		11719		
膨張比 γ_e %								
湿潤密度 ρ'_t g/cm ³								
乾燥密度 ρ'_d g/cm ³								
平均含水比 ω' %								

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量 (mm)}}{\text{供試体の最初の高さ (125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_l}{V (1 + \gamma_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + \gamma_e / 100}$$

$$\omega' = \left(\frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名 路盤材 材料試験

試験年月日 2026年 3月 10日

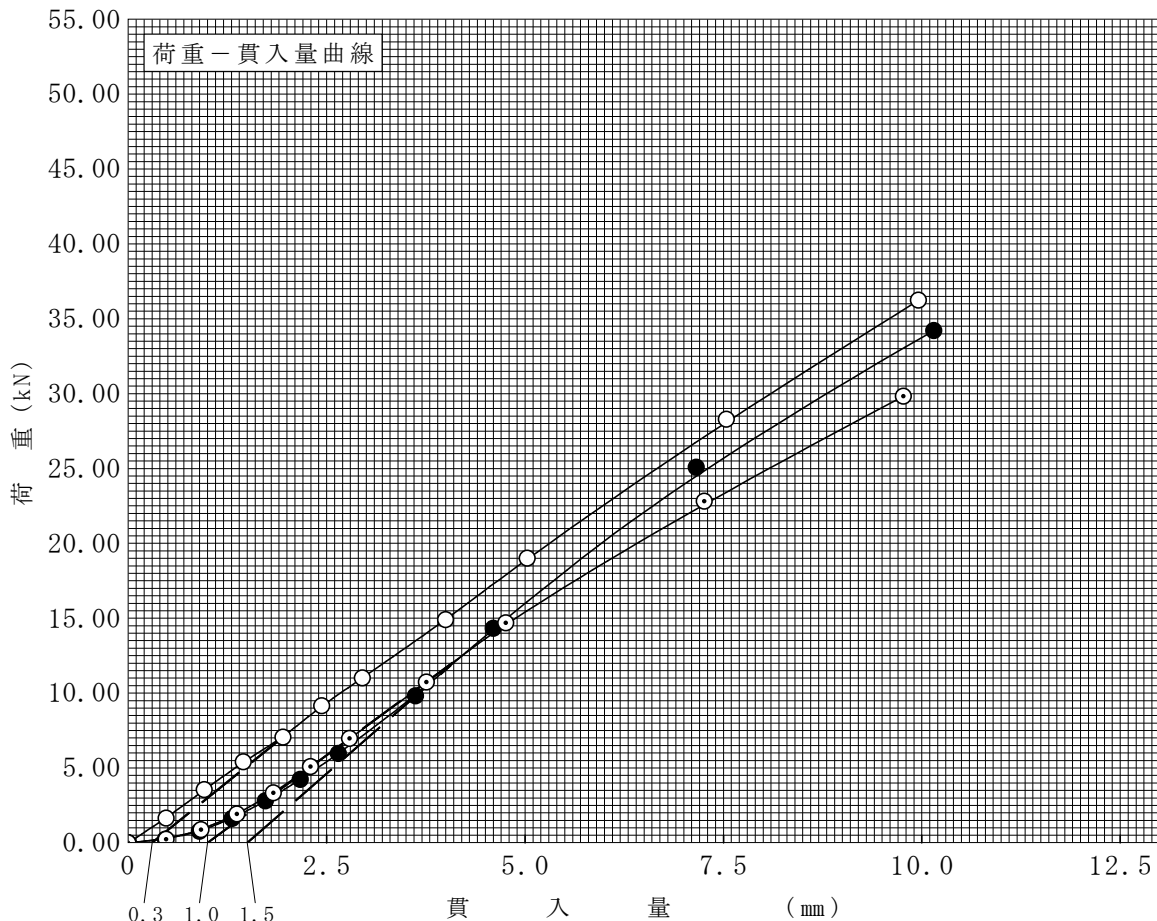
試料番号(深 さ) クラッシャーラン (C-40) 山砕

試 験 者 樋 山 義 弘

試験方法	締固めた土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法	修	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比	%
試料の準備方法	非乾燥法	突固め回数	回/層	42	自然含水比 ω_n	%
試験条件	水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 ω_{opt}	%
養生条件	日空气中	モールド	内径	cm	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	g/cm ³
	4日水浸		高さ ¹⁾	cm		

供 試 体 No.			4	5	6
吸水膨張試験	前	含水比 ω_1 %	5.8	5.8	5.8
		乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.063	2.051	2.063
	後	膨張比 γ_e %			
		平均含水比 ω' %			
		乾燥密度 ρ'_d g/cm ³			
貫入試験	試験後の含水比 ω_2 %				
	貫入量2.5mmにおけるCBR %		78.1	86.3	72.6
	貫入量5.0mmにおけるCBR %		100.4	111.0	94.0
	C B R %		100.4	111.0	94.0

平均 C B R %
101.8



特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。

○—○ 4
●—● 5
○—○ 6

貫入量 mm	2.5	5.0
荷 4 供試体 No.	10.461	19.973
荷 5 供試体 No.	11.562	22.085
荷 6 供試体 No.	9.727	18.707
標準荷重 kN	13.4	19.9

JIS A 1211 JGS 0721	C B R 試験 (初期状態, 吸水膨張試験)
------------------------	-------------------------

調査件名 路盤材 材料試験 試験年月日 2026年 3月 6日

試料番号(深 さ) クラッシャーラン (C-40) 山砕 試験者 樋山 義弘

試験方法	締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称			
突固め方法	修	落下高さ cm	45	自然含水比 ω_n %			
試料準備	準備方法	非乾燥法	突固め回数 回/層	17	最適含水比 ω_{opt} %	5.8	
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	2.155	
	試料調整後含水比 ω_0 %		モールド	内径 cm	15	荷重板質量 kg	5.0
				高さ ¹⁾ cm	12.5	モールド容量 V cm ³	2209

供試体 No.		7		8		9		
含水比	容器 No.							
	m_a g							
	m_b g							
	m_c g							
	ω_1 %							
平均値 ω_1 %		5.8		5.8		5.8		
密度	(試料+モールド)質量 $m_2^{2)}$ g	11543		11593		11478		
	モールド質量 $m_l^{2)}$ g	6808		6854		6790		
	湿潤密度 ρ_t g/cm ³	2.144		2.145		2.122		
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.026		2.027		2.006		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時間	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0							
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96							
(試料+モールド)質量 $m_3^{2)}$ g		11709		11737		11633		
膨張比 γ_e %								
湿潤密度 ρ'_t g/cm ³								
乾燥密度 ρ'_d g/cm ³								
平均含水比 ω' %								

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量 (mm)}}{\text{供試体の最初の高さ (125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_l}{V (1 + \gamma_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + \gamma_e / 100}$$

$$\omega' = \left(\frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名 路盤材 材料試験

試験年月日 2026年 3月 10日

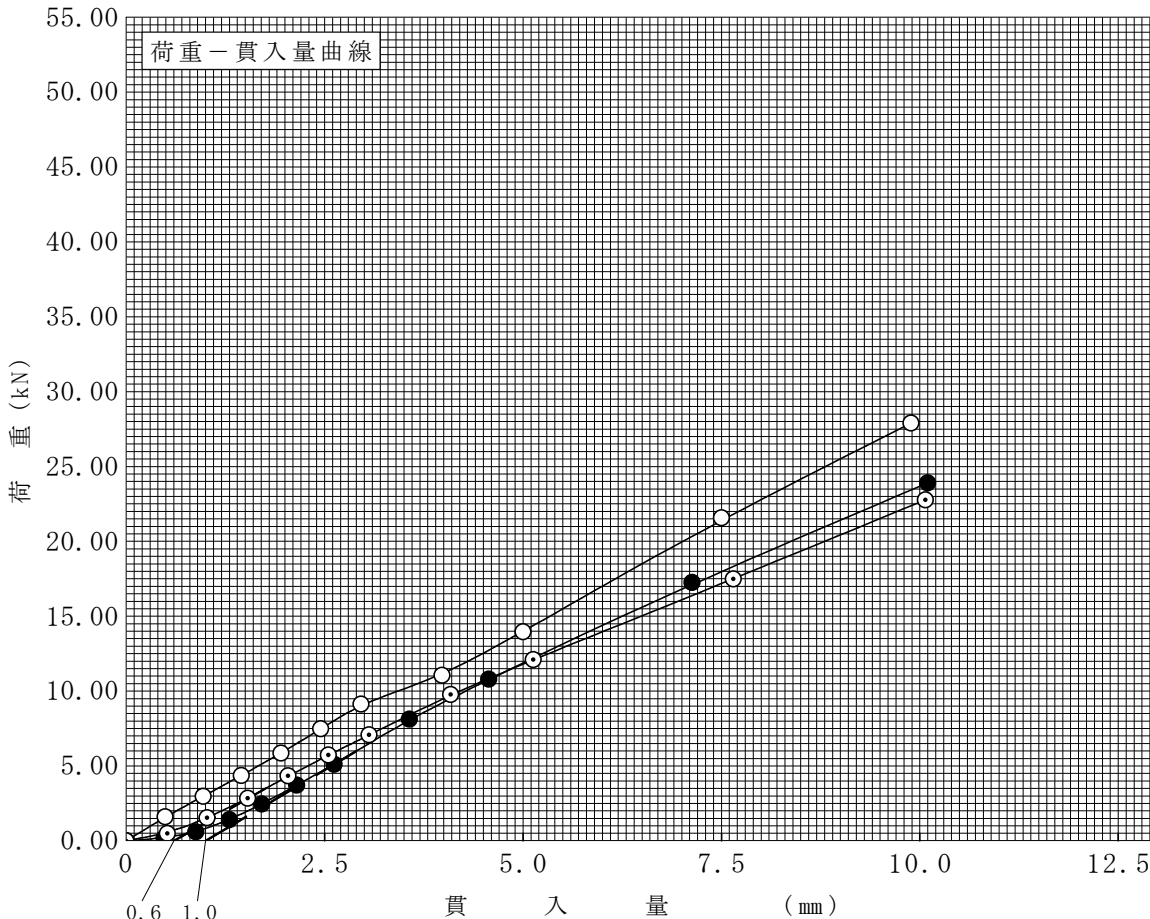
試料番号(深 さ) クラッシャーラン (C-40) 山砕

試 験 者 樋 山 義 弘

試験方法	締固めた土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法	修	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比	%
試料の準備方法	非乾燥法	突固め回数	回/層	17	自然含水比 ω_n	%
試験条件	水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 ω_{opt}	%
養生条件	日空气中	モールド	内径	cm	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	g/cm ³
	4日水浸		高さ ¹⁾	cm		

供試体 No.		7	8	9	
吸水膨張試験	前	含水比 ω_1 %	5.8	5.8	5.8
		乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.026	2.027	2.006
	後	膨張比 γ_e %			
		平均含水比 ω' %			
貫入試験		試験後の含水比 ω_2 %			
		貫入量2.5mmにおけるCBR %	57.0	58.6	53.5
		貫入量5.0mmにおけるCBR %	70.3	72.3	65.8
		C B R %	70.3	72.3	65.8

平均 C B R %
69.5



特記事項
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

○—○ 7
●—● 8
○—○ 9

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重	7.637	13.993
供試体 No. 7		
供試体 No. 8	7.852	14.389
供試体 No. 9	7.174	13.103
標準荷重 kN	13.4	19.9

修 正 C B R 試 験

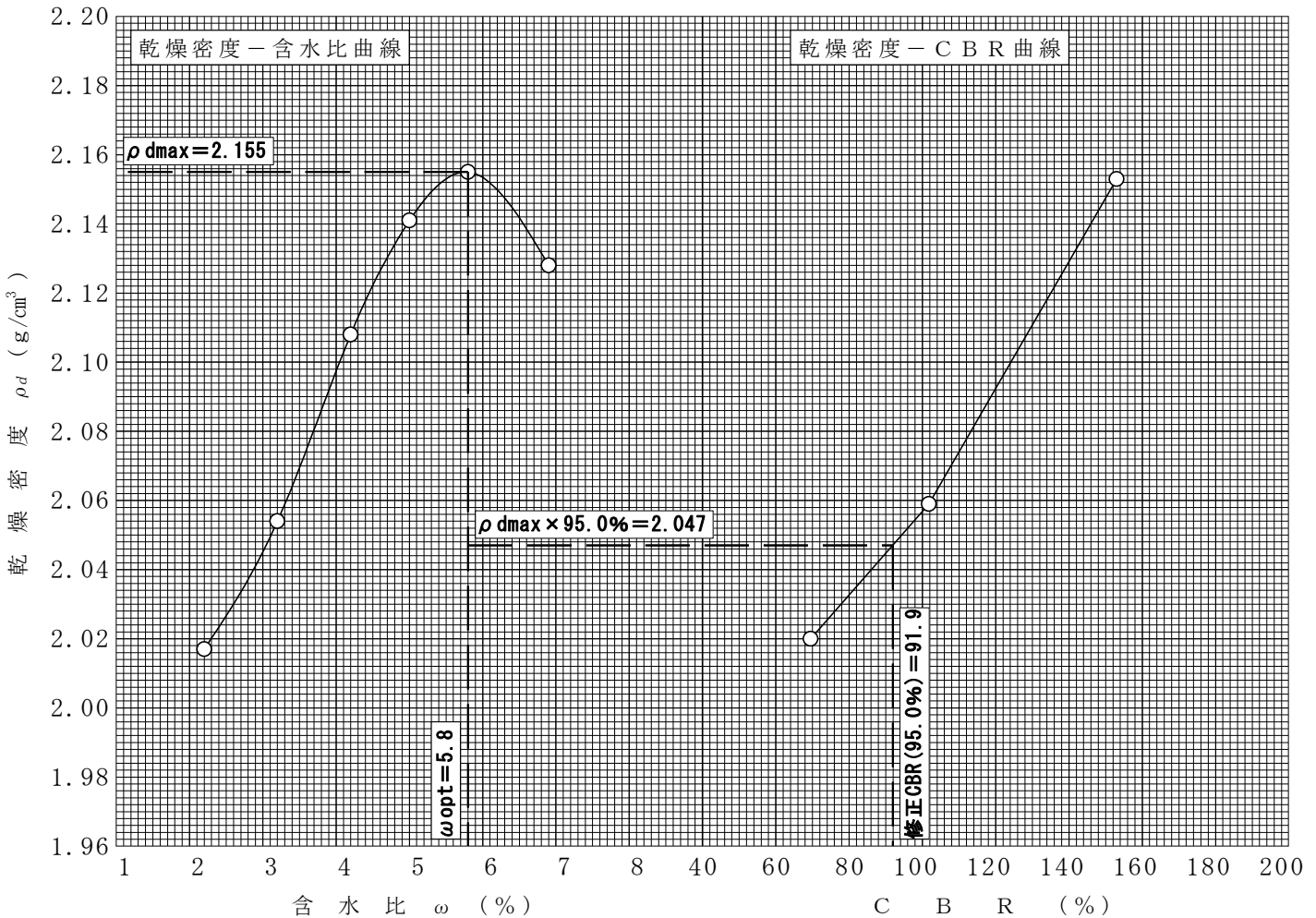
調査件名 路盤材 材料試験

試験年月日 2026年 3月 10日

試料番号(深 さ) クラッシャーラン (C-40) 山砕

試験者 樋山 義弘

供 試 体 No.	92-1, 2, 3			42-4, 5, 6			17-7, 8, 9		
突 固 め 回 数 回/層	92 (3層)			42 (3層)			17 (3層)		
乾 燥 密 度 ρ_d g/cm ³	2.151	2.164	2.145	2.063	2.051	2.063	2.026	2.027	2.006
平 均 値 ρ_d g/cm ³	2.153			2.059			2.020		
貫入量2.5mmにおけるCBR %	122.6	126.5	116.1	78.1	86.3	72.6	57.0	58.6	53.5
平 均 値 %	121.7			79.0			56.4		
貫入量5.0mmにおけるCBR %	149.8	159.3	150.0	100.4	111.0	94.0	70.3	72.3	65.8
平 均 値 %	153.0			101.8			69.5		
ランマー質量 kg	4.5	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	2.155			締 固 め 度 %	95.0		
		最適含水比 ω_{opt} %	5.8			修 正 C B R %	91.9		



特記事項